



その280

クローズアップ21

賞品に特化したオープンコンペ GOLF5カントリーかさまフォレスト

年間120日休暇と福利厚生の充実



GOLF5カントリーかさまフォレスト 鈴木康浩 支配人

GOLF5カントリーかさまフォレスト（18H、茨城県笠間市）は、1985年10月12日に開場。スポーツ用品店最大手である㈱アルペングループコースである。

コース設計は、黎明期のプロゴルファー安田幸吉氏。グリーンはベント2グリーン、品種はAグリーンがペンクロスでBグリーンはLS-44（ニューベント）。

ゴルフ場の年間来場者数は4万9千人。メンバー数は620人で、年間来場者比率はメンバー約15%、ビジターが約85%。女性入場者比率は約12〜13%。

かさまフォレストはオープンコンペを月1度で開催しており、メンバーの意見を取り入れながらレストランメニューの入れ替

えも定期的に行うという。ゴルフ場の取り組みについて鈴木康浩支配人よりお話を聞いたので紹介していきたい。

昨年よりアルペングループ6コースの「Women's Golf」開催

かさまフォレストを含むアルペングループ6コースは、23年より「Women's Golf Day」を開いている。

WGD（ウイメンズゴルフデー）は、世界900を超えるゴルフ関連施設で開催されているイベントで初心者ゴルファーを含む、全女性ゴルファーを対象としている。女性やジュニアにとって、初めてゴルフを体験したり、経験のある女性ゴルファーとゴルフに関心のある初心者ゴルファーとゴルフで交流できるきっかけ作りになるという。

「昨年は「Women's Golf」を6コース同時で始めました。昨年は、5〜6組の枠で募集してオープンコンペを行いました。コンペ当日は「赤い物」を着けていただきます。イベントに関し

ては、こちら側から告知をしたのですが、お客様もイベントを良く知って下さっていたので、多くの方が集って頂きました。参加者の年齢層はメンバー・ビジター問わず幅広いです。

かさまフォレストでは基本的にイベント開催の担当者を全て女性陣に任せています。オープンコンペでは、プロシヨップ担当の女性サブマネージャーを中心に女性視点で企画・計画し、賞品や写真撮影、集計作業を行っていますので、女性目線の内容で進めることができたのかなと思います。また、イベント参加者に特典として豪華でおしゃれなレディースラランチを提供してご満足いただきました。

コンペの集計に関しては同時開催、6コース全てのスコア集計を行います。賞品当選はネットで発表して当選者に郵送しています。

今年の「Women's Golfオープンコンペ」は5月31日に開催します。既に募集を行っていましたが、何件か問い合わせを受け

り、参加申し込みもいただいています。現在は、メーカー等とタイアップして進めているところです」（鈴木支配人）

賞品に特化したオープンコンペを月1回で積極的に開く

かさまフォレストでは、月1度のペースで様々な種類のオープンコンペを開催している。鈴木支配人はオープンコンペについて次のように話した。

「一年半前からオープンコンペを1人5千円の参加費込みで10人に1人が2〜3万円の賞品がもらえるという賞品に特化したスタイルで日曜・祝日に開いています。スタッフには5千円の参加費を払ってでも出たくなる賞品を考えるよう伝えてあります。ビジターには少し高めの設定ですが、ゴルフ関連に限らず自分で買いたい物をする時に買いたくど2〜3万円するから我慢しようと思える物に人気が出ています。高級クッションをタイトルにしたコンペには80人が集まりました。人気ブランドを賞品に

するとすぐに参加枠が埋まりますね。賞品に関しては女性スタッフ中心に任せていますので女性らしい賞品が多いですが、女性だけで決めるのではなくゴルフ場スタッフに欲しいものを聞きながら選んでいます」（鈴木支配人）

今後も月1回のペースでオープンコンペを継続とのこと。今後も飽きがこないように各イベントに変化をつけていくという。

また、3月29日に「Alpen NAGOYA」がオープン。アルペンの店舗からゴルフ用品だけでなく、ゴルフ場に仕入れをすることが可能という。

「アルペンが販売しているものは、ゴルフ場のプロシヨップで

目玉賞品の多い月1回のオープンコンペは1名から参加できる



「Alpen NAGOYA」今年もゴルフ用品以外に、幅広いジャンルのも

を取り揃えることができ、アウトドア品や、

自転車、他のスポーツ用品など、お客様には、コンペ賞品や、贈答品など、大変喜ばれております」

料理長が当地グルメをアレンジ、レストランメニューも好評

昨年の冬からアルペングループ各コースの料理長が主体となり「ご当地グルメフェア」を23年末から実施している。グルメフェアやレストランメニューについて鈴木支配人は左記のように語った。

「ご当地グルメについては、昨年の冬から始めました。メニューについては地域を代表する食材を使って料理長がメニューを考案しています。前は、茨城の個人店で流行った「納豆ヒレ

前回かさまでフォレストで実施した「水戸納豆ひれかつ御膳」



カツ」をやりました。提供の仕方については各料理長にお任せするやり方です。地域によっては納豆とカツを別々にして出しているところもありました。基本的に6コースの料理長でWEB会議をしまして、それぞれの強みを活かして協力しています。グルメフェアの期間は3カ月で変わるので今後も継続していく予定です。また、レストランメニューについては2〜3カ月でマイナーチェンジ、3カ月ごとに大きくメニューを入れ替えています。季節ごとに5〜6品多い時は7品変更する時もあります。メンバーさんからの意見を料理長に伝えて、どの料理を提供するかは料理人に任せてい



人気のサラダバーはランチ利用者の7〜8割が利用とのこと

ます。ゴルフ場としてしっかりとしたサービスを提供している中での料理ですと和洋中合わせて10品以上は欲しいです。また、昨年の3月からサラダバーを始めました。ランチメニューを注文すると無料で食べることができ、グループでも数コースに導入して好評をいただいています」

グループでは毎年の夏と冬に支配人・副支配人・料理長・グリーンキーパーを集めて合同会議を行い、情報交換をしながらメニュー開発に活かしている。

超早朝スルー、薄暮ハーフで空き時間を有効活用

かさまフォレストでは、超早朝スループレーや薄暮ハーフプレーなど通常営業時間前後の空き時間を有効活用している。各プラン実施の経緯について鈴木支配人は次のように話した。
「少しでもお客様のニーズがあれば、売り上げに繋げるという思いからプランを始めました。かさまフォレストでは、これまで朝6時スタートのスループランを出していました。このプランですと良い時間帯を潰してしまうため、6時からのプランを辞めて通常スタートを7時からに変更しました。昨年の5〜7月に実施した『アーリーバードプラン』（18Hスループレー）は、朝4時半スタートで7時のスタート前にはターンの終わりますので、売り上げが上がりました。このプランは土日祝日のみのため認知度は低いです。7〜8割は入りません。アーリーバードは利用しないお客様も多かった。4時半スタートとなると4時オープンとなり、スタッフにも負担がかかるので、4時出

薄暮ハーフは4組限定で毎日実施

| | |
|--------------------------------------|------------------|
| 2024 3/1 - 10/31 | |
| 薄暮 0.5R プラン (中場から前場の1/2プレー限定) | |
| 2名限定 4組 1組限定4組 各1グループ 各組1名 | |
| ゴルフ場 3,530円 | ゴルフ場 3,370円 |
| ゴルフ場 4,300円 | ゴルフ場 8,700円 |
| スタートは16:00前後 | 11:00 - 閉場後開始OK! |
| お問い合わせ 0296-74-4151 | |

勤した者は9時間後の定時に帰れるように配慮しています。

薄暮ハーフプレーにつきましては、レギュラー時間以外にも空いているスタート枠を利用しようということを始めました。周りのゴルフ場からはニーズはあまりないけどゼロではないという情報を聞いていますので、今年3月から4組限定で平日・土日祝日問わず毎日実施しています。このプランは、レギュラーの最終組にくつついて出ていけるようなスタートで組んでいきますので、従業員に残業が発生する影響もありません」

年間120日の休暇と従業員割引や格安プレーで福利厚生充実

従業員の働き方改革について鈴木支配人は次のように述べた。

「従業員から希望休を全て受け入れることはできませんが、なるべく希望するお休みは受け入れています。2015年の8月末からアルペングループとなりました。当初は変形労働制でしたが、しばらくして8時間労働に変わりました。グループコース共通で有給休暇を含めた年間120日の休みを取れることにしています。残業につきましては基本ゼロで、仕事を密にして不要な業務を削減しています。よく支配人会で3日に1日はお休みを取っていることを伝えると他のゴルフ場から驚かれます。また、福利厚生としてアルペン系列店舗での買い物は従業員割引が利用できます。お子さんのシューズや家族のジャージなどで割引を利用する人は多いのです。それからアルペンが運営している子会社の関東3コース（かさまフォレスト、サニーフールド（茨城県）、オークビレッジ（千葉県）であれば、食

事代を含み、従業員価格でプレーできるのも魅力です。これは社員だけでなくパートナーさんも対象ですので、ゴルフの好きな方がゴルフを目的に働いているサニーフールドや、オークビレッジからもプレーの行き来があります。プレーの際は事前に予約して書類をコース宛てにFAXします」

グリーン周りバンカーの排水改善 15番ホール前方ティも予定

コースでは、バンカーの排水改善のため、3年程前からコースのグリーン周りのバンカーの排水と形状の変更を行っている。「バンカーの水たまりが酷くて、メンバーからも指摘をいただいています。全部をやると期間もコストもかかりますので、中長期計画で特に排水の酷いところから優先順位をつけて徐々に良くしていきたいと思っています。それから15番ホールの距離を短くするために前方ティを作るのは確実にやりたいです。この

ホールは他のホールに比べて進行がかりますし、今のレイアウトステイだと距離が長すぎるので、女性来場者を増やしていくためにも今年8月に完成を予定しています。

後部座席デジタルサイネージ導入

後部座席ナビ導入について鈴木支配人から説明をいただいた。

「ゴルフ場では、2008年からカートナビを導入しており、メーカーからの提案で今年2月から他コースにはあまりない「後部座席デジタルサイネージ」を採用しました。後部座席でもピンポジ、スコアが確認できます。スコア入力、現在アプリ開発中のため、年内には入力できる予定です。こちらはアルペンの関東3コースで導入しています」（鈴木支配人）

その他、地域貢献のためのSDGsの取り組みとして、世界アースデイに合わせてゴルフ場の正門から北関東自動車道・笠

ダブルカートナビでピンポジを確認



間西ICの入り口までゴミ拾いを毎年行っている。また、笠間市からの提案を受けて、ふるさと納税を即座に納税できるシステムの導入も予定している。

最後に鈴木支配人は今後について次のように話した。

「ゴルフ場として将来のゴルフアートを残すためにも、ゴルフ団体とのタイアップで何が提供できるかは今後の課題だと思っています。これから企画ものを含めてどのようにゴルフ場を運営していくか考えていきたいです」

GOLF5757ナビゲーションシステム
NEWホームページ

